

## 平成28年度事業計画

### 概況

平成27年は、前年来70年ぶりの国内感染として話題を呼んだデング熱感染症の発生が懸念され、市町村などが媒介生物である「ヒトスジシマカ」のウイルスチェックなどに関心を寄せ、その事業化について多くの相談が協会に寄せられました。また協会でも「感染症特別講習会を従前の10月実施から媒介私物の活動期である7、8月以前に実施するなど準備態勢を取りましたが、幸いにもは政令は報告されず平穩のうちに過ぎました。一方箱根山や鹿児島県の桜島や口永良部島などにみられたように火山活動の活発化に伴う自然災害の恐怖に直面した年でもありました。

(公社)神奈川県ペストコントロール協会は、本年設立45周年を迎え2月には通常総会に併せて記念事業を盛大に挙行了しました。協会設立以来の諸先輩方の努力の積み重ねの結果、現在では神奈川県ペストコントロール協会の知名度もまだまだ不十分とは言え市民に浸透しつつあり、また行政機関からも冒頭引用した感染症対策や自然災害発生時のパートナーとして一定の信頼を得られるようになってきました。

一口に45年といってもこの間に多くの困難や課題がありました。そうした困難を乗り越えPCO協会が次第に市民に認知される存在となり、公益法人としての役割が行政機関などにも認識されるようになったのは、幾多の先輩諸氏の不断の努力の結果であると思います。

しかしながら、競争の激化、後継者問題などPCO業界を取り巻く情勢は決して楽観できるものとは言えず、さらなる努力が求められているといえます。

協会では西暦2020年に設立50周年を迎えることとなりますが、これを機に新たな飛躍を期すべく「協会の在り方」、「PCOの市民生活への一層の浸透」、「県・市町村など地方行政機関との連携のあり方」、「PCO業務従事者の技術力の更なる向上」、「PCO業務の継承者の育成」などの様々な課題を想定し検討を進めてゆきたいと考えております。

平成28年度においてはこれまで継続してきた各種事業に、新たに「調査研究事業」を加え、市民生活に危険を及ぼす特定外来生物などの生息調査を行うとともに、先述した協会設立50周年を目指した研究事業など以下の具体的事業を実施して行くこととします。

会員皆様の積極的な参画をお願いいたします。

1 公衆衛生の向上を図るために

- (1) 公共機関、各種地域団体及び公益事業団体、業界団体並びに市民団体などとの連携強化
- (2) 感染症予防衛生隊の活用及び充実強化
- (3) 安全な生活環境を確保するための各種調査研究活動の充実・強化<sup>㊦</sup>
- (4) 市民も参加できる各種講習会の開催
- (5) 地域社会における公衆衛生の推進強化

2 地域社会への浸透を図り、公益事業の強化を図るために

- (1) 害虫110番事業の機能強化
- (2) ホームページの効率的運用
- (3) 有害、不快生物等の同定・相談事業の実施
- (4) 有害・不快生物に関する防除の正しい知識の普及・啓発
- (5) 市民の知識を啓発するための「虫の日」イベント等の開催・参加
- (6) 公共機関、市民団体、業界団体等への講師の派遣

3 防除技術の向上を図るために

- (1) 技能師資格の普及・拡充
- (2) 技術関連講習会の充実強化による新たな課題への対応
- (3) 各種技術情報の収集・提供
- (4) IPM（総合的有害生物管理）に即した防除手法の普及・開発
- (5) 機関誌「情報発信 from かながわ」の発行
- (6) 各種学会への協賛・参加
- (7) 資料室・研修室の充実と活用の促進

4 協会の基盤強化のために

- (1) 組織の充実強化
- (2) 協会広報活動の強化
- (3) 会員を対象とした経営相談等の窓口開設の検討
- (4) 経営環境改善講習会の実施
- (5) 次世代型指導者の育成と支援
- (6) 会員相互の親睦、連携を図るための福利厚生事業の実施
- (7) 新規会員の加入促進